

様式 4

令和 7 年度第 1 回

富士見市安全安心なまちづくり・犯罪被害者等支援審議会

議事録

日 時	令和 7 年 7 月 24 日 (木) 開会 午前 10 時 00 分 閉会 午前 11 時 00 分								
場 所	富士見市役所 2 階 市長公室								
出席者	委 員	宮田委員長	平副委員長	齊藤委員	米山委員				
		○	○	×	×				
		藤野委員	常泉委員	成田委員	松村委員				
		○	○	×	○				
	事務局	協働推進課 吉野課長、松浦副課長、坂爪主査、瀬戸							
公開・ 非公開	公開 (傍聴者なし)								
議題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画取り組み状況調査結果報告</p> <p>(2) 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の見直しについて</p> <p>(3) 令和 7・8 年度スケジュール (案) について</p> <p>(4) その他</p> <p>4 閉会</p>								

議事内容	
	1 開会
宮田委員長	<p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画取り組み状況調査結果報告</p> <p>資料1 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画取組状況調査票</p>
事務局	資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の令和6年度取り組み状況について、概要を説明。
委員	<p><質疑・意見></p> <p>地域安全マップの作製について、「やっているかどうか」と「出来ているかどうか」は違うため、具体的にどのように取り組んでいるのか、質的な考え方も大切である。</p>
委員	市として、防犯マップの作製内容に応じて賞をあげてモチベーションアップを図るのもいいのではないか。
委員	マップをどう活用するか。危険な場所だとしても通らないわけにはいかない場所もある。その場合はどうするといった教育が必要。
委員	大人の視点と子供の視点は違うので、その視点を合わせるのもいいのではないか。
委員	事業者への周知は、チラシも少なく、何をすればいいのかわからない部分もあると思う。会議で伝えるなど商工会も協力はできると思うので、何ができるのかすり合わせが必要。
委員	商店会での街路灯の管理が大変になってきている。会員数が減り、収入が減っている状況で、収入と運用のバランスがとれていない。街路灯を市の防犯灯に置き換えているところもある。市の補助などの状況は。
事務局	⇒電気代は100%補助。修繕は一部を補助している。ただ、電球の交換や日常管理は商店会にお願いすることとなる。
委員	特殊詐欺の出前講座については、回数を増やすか、別の方法をとるか。

委 員	町会で警察に講話の依頼をしたが、土日は対応できないと断られてしまった。NPO など市内に防犯の寸劇をやるところがあるか。
事務局	⇒市内にはない。
委 員	固定電話だけでなく、携帯に対する対策も必要。補助なども検討できれば。
委 員	民生委員に一定期間内で、啓発してもらうということはできるのではないか。ただ、高齢者の方は啓発だけでは活用までいかないケースも多く、やってあげることが必要。
委 員	目にみえる対策（シール等）が効果的。
	地域が一体となった啓発については行えていないことだが、地域の規模をどのように捉えるかというところもある。
事務局	⇒市としては、町会で1つの地域と考えている。
委 員	民生委員で防犯に関する研修もあるが、地域に還元されていない。地域の方に還元・発信できる仕組みがあるといい。
委 員	犯罪被害者支援については、今後より一層連携を図っていきたい。
（2）富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の見直しについて	
資料2 第2次富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画 骨子案 検討シート	
資料4 本市における犯罪情勢の推移	
事務局	資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の骨子案について、概要を説明。
＜質疑・意見＞	
委 員	12項と新規事業の非行防止パトロールが内容的に重複しているように見えるが、あえて分けている意図は。
	⇒担当課に確認する
委 員	青少年育成市民会議は16団体所属しているので、協力して落書き消しなど行っているが、広がりすぎて具体的に何をしたらいいのか分からなくなっている。

委 員	非行防止パトロールについては、単純にパトロールだけでいいのかといった面もある。帰りなさいと言っても帰れない事情があるからそこにいる訳で、そういった根底の理由を考えるとこども未来応援センターや福祉関係部署と連携していくことが必要だと思う。
委 員	女性に対する暴力をなくす運動や犯罪への啓発があるが、今の時代、女性に限定するのはどうか。
委 員	女性に特化すると男性が声を上げづらい。センターでも相談が多く、小学生までは男児の被害が多い。
委 員	富士見市が時代の先を行く形でオリジナリティのある取り組みにするといいのではないか。
委 員	犯罪被害者支援について、新規で多く盛り込まれているが、運用する際、1つの部屋で対応し、各窓口の担当者がくる形で、なるべく本人を移動させないように対応していただきたい。
(3) 令和7・8年度スケジュール（案）について	
資料3 令和7・8年度スケジュール(案)	
事務局	資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の見直しに係る今後のスケジュールについて、概要を説明。
委 員	<質疑・意見> なし
(4) その他	
事務局	事務局からは特になし。
委 員	<質疑・意見> なし
4 閉　　会	